

## PDC方式デジタル・ムーバ D503iS HYPER

(株)NTTドコモ向けに、PDC( Personal Digital Cellular )方式携帯電話デジタル・ムーバD503iS HYPERを開発した。

主な特長は次のとおりである。

- (1) PDC方式初の内蔵アンテナを採用し、今までにないスッキリとした高級感のあるデザインを実現した。
- (2) 当社初の二つ折れ端末を開発した。
- (3) 2インチTFD4,096色カラー大画面液晶を採用し、画面・文字の表示の分かりやすさを向上させた。
- (4) イージーセレクトやATOK Pocket<sup>(注)</sup>といった、

D503i HYPERで好評であった機能を踏襲した。

- (5) 片手でも操作しやすく、下部のキーも押しやすい低重心設計を採用した。
- (6) 7色に輝くイルミネーションを採用した。
- (7) かばんやポケットに引っ掛からないフラッシュユーザーフェイスデザインを採用した。
- (8) 電話中も美しい全方位デザインを採用した。
- (9) グレー、グリーン、ピンクの3色カラー展開を図り、幅広い層をターゲットとした。



ピュールグリーン

プリティピンク

ノーブルグレー

## PDC方式ムーバ D211i

(株)NTTドコモ向けに、PDC( Personal Digital Cellular )方式ムーバD211iを開発した。

主な特長は次のとおりである。

- (1) 30歳代男性をメインターゲットとしたプライベート用2台目新規購入獲得マシンである。
- (2) 内蔵アンテナを採用し、斬新なデザインとコンパクトさを実現した。
- (3) 低消費電力で豊かな表現力を発揮する4,096色・1.56インチSTNカラー液晶を搭載した。
- (4) フリップマイクを採用することでボディタイプのコンパクト化に対応した。
- (5) PCM128音源24和音に加えピブラートにも対応し、着信メロディの再現性が更に美しく向上した。
- (6) 7色イルミネーション機能を備えた前面LEDで、送受信時の高揚感をアピールした。

(7) ATOK<sup>(注)</sup>の機能強化として“推測変換機能”を搭載した。

(8) ピュアメタル、スカイクローム、モノブラックのカラー展開を図り、幅広いニーズに対応した。



スカイクローム

モノブラック

ピュアメタル

## PDC方式携帯電話J-D05

J-フォングループ向けに、J-D05携帯電話無線機を開発した。主な特長は次のとおりである。

- (1) Java<sup>(注)</sup>アプリケーション&3D表示機能搭載(ゲームや3Dキャラクタなどをダウンロードして楽しむことが可能)
- (2) 高性能人工網膜チップモバイルカメラ搭載
- (3) デジタル福笑い機能搭載(モバイルカメラで撮影した人物画像を自動的に似顔絵生成することが可能)
- (4) 大容量1Mバイトのメガフォルダ搭載(ダウンロードファイル、モバイルカメラ撮影データなどをたっぷりメガフォルダに保存可能)
- (5) 日本語変換ソフトウェアATOK Pocket<sup>(注)</sup>搭載
- (6) ケイタイ手帳搭載(モバイルカメラで撮影した画像や、メールなどの保存データ、コンテンツ「デイリーアニメっちゃん」をスケジュール帳に自動的に連動させ管理可能)

(7) アニメっちゃん搭載(伝えたい気持ちを15種類のキャラクターと20種類の表情で表現し、メールで送受信可能)



ピュアシルバー

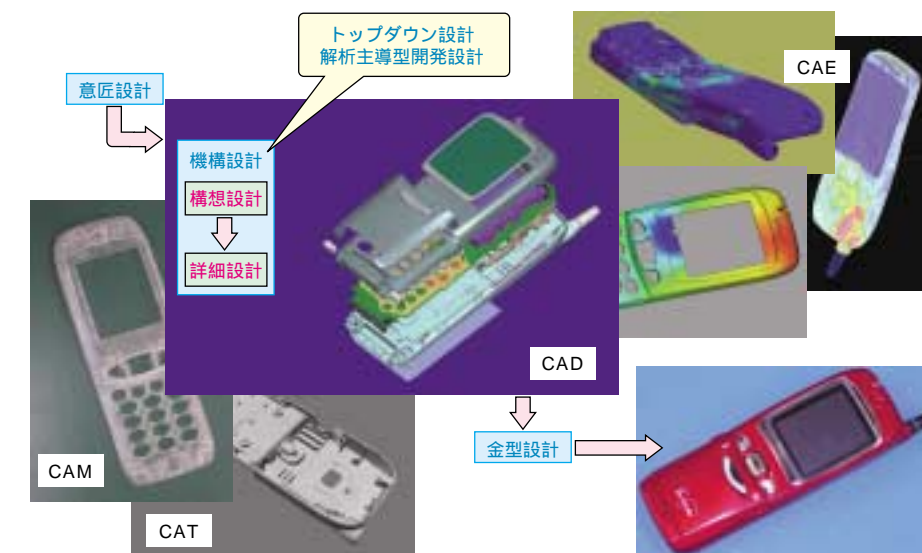
コスメピンク

## 携帯電話機機構設計におけるCAD/CAE/CAM/CATの技術開発

携帯電話機の機構設計において、三次元設計データを核としたCAD/CAE/CAM/CATの各技術を開発して導入し、さらには連携技術を構築し製品設計に適用した。

差別化した携帯電話機を早期に開発し市場に投入するため、機構設計業務の革新を進めている。開発期間の短縮化と設計品質の向上を目的に、意匠設計から機構設計、金型設計まで三次元データを活用し、三次元CADによるトップダウン設計、CAEによる予測型開発設計、光造形やアルミ型でのCAMによる短期試作、非接触三次元測定CATシステムを用いた設計検証に至る機構設計全体で新プロセスを展

開した。この三次元設計手法により、開発期間短縮と金型改造費の削減で大きな効果を確認している。



携帯電話機での三次元設計手法